

	C (支援が必要)	B (おおむね目標に達している) 【到達目標】	A (十分達成している)
【問いの設定】	<p>基準：問いを設定することができる。</p> <p>徴候：短絡的な問いはたてることができる。</p>	<p>基準：問いを設定し、発展させることができる。</p> <p>徴候：自発的にリサーチクエスチョンまでたどりつくことができ、本質的な問いをたてている。調べたい変数を班で設定することができる。</p>	<p>基準：問いを明確に設定し、過去の課題研究をより発展させることができる。</p> <p>徴候：自発的にリサーチクエスチョンまでたどりつくことができ、本質的な問いをたて、その目標のための実験計画までたてることができる。調べたい変数を班で設定することができ、結果を予想し見通しをたてることができる。</p>
【論の展開】	<p>基準：考えを述べることができる。</p> <p>徴候：調べた情報を集約し考えをのべることができる。調べた情報すべてを鵜呑みにし、情報の取捨選択が行われていない。</p>	<p>基準：根拠をもって考えを述べるができる。</p> <p>徴候：他者の論文や調べた内容と自分たちの考えを比較し、判断しようとしている。</p>	<p>基準：根拠をもって考えを述べることができ、自分の考えまで合わせて仮説を述べるができる。</p> <p>徴候：他者の論文や調べた内容と自分たちの考えを比較し、判断し、仮説を立てられている。</p>
【研究深化の アプローチ】	<p>基準：実験方法・調査方法を試行錯誤したが十分な実験がなされておらず情報も得られていない</p> <p>徴候：とりあえず実験は行ったが変数が多く、結果から議論できない。</p>	<p>基準：実験方法・調査方法を試行錯誤し、情報を得ることができる。</p> <p>徴候：実験方法を確立し、できるだけ変数が少なくなるように工夫している。何度も実験を行い、結果をグラフ等にまとめ、現象を理解しようと主体的に取り組んでいる。</p>	<p>基準：再現性のある実験方法・調査方法を試行錯誤し、情報を得、その結果から自分の考えを表現することができる。</p> <p>徴候：実験方法を確立し、できるだけ変数が少なくなるように工夫している。何度も実験を行い、結果をグラフ等にまとめ、現象を理解しようと主体的に取り組んでいる。実験結果からわかること、わからないことを整理しようとしている。</p>

	C (支援が必要)	B (おおむね目標に達している) 【到達目標】	A (十分達成している)
【問いの設定】	<p>【基準】 漠然とした研究目的である。</p> <p>【徴候】 十分な先行研究調査ができておらず、これまで研究されてきた内容を把握できていない。単なる思いつきによるテーマ設定である。</p>	<p>【基準】 研究目的が明確に示されている。</p> <p>【徴候】 先行研究調査から研究されていること、研究されていないことを把握しており、それらをもとに研究目的を自分の言葉で説明することができる。</p>	<p>【基準】 研究目的が学術的かつ社会的な課題意識をもとに多角的に示されている。</p> <p>【徴候】 先行研究を丹念に調べ、研究に関する広範囲な情報を得ている。また、学術的かつ社会的な課題意識をもとにテーマが考案されている。</p>
【論の展開】	<p>【基準】 目的のための研究方法に不備がある。考察に飛躍がある。</p> <p>【徴候】 自ら研究方法是考えているが、目的を達成するためにはまだ不十分である。調べた資料や得たデータについて、独りよがりな解釈をしており、無理やり関連付けようとしている。</p>	<p>【基準】 目的に合った研究方法を組み立てている。結果に対して矛盾のない考察ができています。</p> <p>【徴候】 先行研究をもとに目的に合った研究方法が具体的に考えられている。調べた資料や実験等で得たデータを自分なりに解釈しようとしている。</p>	<p>【基準】 発想に富んだ研究方法を組み立てている。他者を納得させるための考察ができています。</p> <p>【徴候】 緻密で発想に富んだ研究方法を考案している。豊富な先行研究をもとに、独創性のあるアイデアを導き出し、考察している。</p>
【研究深化の アプローチ】	<p>【基準】 見通しがなく、その場の成り行きで研究をしている。</p> <p>【徴候】 担当教員との打ち合わせなども毎週の授業のときだけであり、計画通り研究が進んでいない。自分の役割は自覚しているものの、それを十分に果たせていない。研究内容や結果に対する失敗などを説明することができない。</p>	<p>【基準】 計画通り研究を進めており、研究をより良いものにしようという姿勢が見られる。</p> <p>【徴候】 実験方法やデータ収集、分析方法などを担当教員と検討しており、おおむね計画通りに進めることができている。研究内容や結果に対して自ら批判的に考え、建設的な意見を出すことができている。</p>	<p>【基準】 根拠をもとに先を見通して研究を進めている。学校外などに意見交換の場を設けるなど、研究をより良いものにしようと能動的に取り組もうとしている。</p> <p>【徴候】 実験方法やデータ収集、分析方法などを担当教員との報連相を密に行い、研究を計画的かつ主体的に進捗させている。自らの役割を全うし、メンバーとの手助けや批判的かつ建設的な意見を出すことができている。自ら必要な情報を収集することができ、さらに行動に移せている。</p>

	C (支援が必要)	B (おおむね目標に達している) 【到達目標】	A (十分達成している)
【問いの設定】	<p>【基準】文献や論文を調べず、自分たちの経験だけで行っている。</p> <p>【徴候】テーマ設定はしているものの、なぜそれをしたのか、それをやることの意義を見出せずに取り組んでしまっている。</p>	<p>【基準】文献や論文を調べ、自分たちのやりたいことを実現しようとしている。</p> <p>【徴候】やりたいことが明確であり、それをやることの意義や自身の研究の最終到達点のビジョンがある程度描けている。</p>	<p>【基準】文献や論文から必要な情報を収集し、自身のやりたいことととできることの差を見極め、できうる最大限の内容を設定できる</p> <p>【徴候】やりたいこと・意義・目的が明確であり、かつ自分の足りないところを言語化できている</p>
【論の展開】	<p>【基準】根拠もなく、ただ思い付きで作業に取り組んでいる。</p> <p>【徴候】作業は進んでいるが、目的意識を持っておらずただいたずらに時間を浪費してしまっている。</p>	<p>【基準】振り返りを行い、根拠をもってつながりのある作業を行えている。</p> <p>【徴候】毎回の進捗状況をまとめ、うまくいかなかった点をピックアップし、次回へとつなげることができている。</p>	<p>【基準】振り返りを行い、根拠をもって先を見通したつながりのある作業を行えている。</p> <p>【徴候】進捗状況を把握し、効率的に作業を進めることができる。中長期的にとらえられる。</p>
【研究深化の アプローチ】	<p>【基準】自身の研究を客観視することができず、問題点を見つけられていない。</p> <p>【徴候】作業の中で自身のつまずきや失敗に対して何も対策を講じられていない、またはそれに気づけていない。</p> <p>班の中での取り組みの差が大きく、チーム全体で指揮がうまく取れていない。</p>	<p>【基準】自身の研究を客観視し、問題点を洗い出そうとしている。</p> <p>【徴候】自身のつまずきや失敗に対する策を講じることができている、または代替策を皆で考えようとしている。</p> <p>班員全体でやるべきことをお互いが共有し、作業に取り組んでいる。</p>	<p>【基準】自身の研究を客観視し、行っていることは正しいのか、もっとよい道はないのか等、批判的思考で捉えられている。</p> <p>【徴候】失敗に対する策を講じられており、さらに自身の研究をよりよいものにしようと自身の問いを多角的に広げようとしている。</p> <p>班員全員がそれぞれの役割を理解し、自身の研究のために精力的に活動することができている。</p>